

認知症に関する活動計画（概要）

富山県作業療法士会は、今年度より「認知症」に限定しない地域・社会貢献を行っていく組織編成となり、介護予防に関する事業、家族介護教室にて認知症に関する内容の講演、今まで作成してきた認知症に関するパンフレットの活用を継続している。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

富山県作業療法士会としてのイベント企画は以前より行っておらず、イベントの企画に関しては、今後検討していきたい。

認知症の人と家族の会との連携事業

2022年度、若年性認知症家族交流会にて富山県士会員は当事者ご本人にアクティビティを提供してきた。また、家族会側に参加する若年性認知症センター職員や認定看護師と情報共有しながら、作業活動の検討を行ってきた。



介護予防事業（士会独自の取り組みなど）

高齢者のフレイル予防、介護予防に関わる立場から、作業療法士がダンスの監修を行い、「きとっぴダンス」が誕生した。テレビ放送局や富山県作業療法士会ホームページからも視聴することができ、各種イベントにて披露している



COVID-19の影響・対応など

昨年度より、徐々に活動再開傾向にあった若年性認知症家族交流会だが、当事者本人の認知機能の低下、介護保険サービスに繋がるケースが増えたため今年度の活動は中止となった。

活動の振り返りでは、COVID-19にて外出制限を余儀なくされ、交流の機会が減少していたことも認知機能の低下につながってしまったのではないかとの意見がでた。